

ARIBの動き

第52回規格会議開催される (続報)

前号に引き続き第52回規格会議(2月5日)において策定及び改定が承認され次の標準規格及び技術資料のうち、前号に記載した1~8項を除く9項~12項の概要を掲載します。

- 1 デジタル放送に使用する番組配列情報標準規格の改定
- 2 デジタル放送用受信装置標準規格(望ましい仕様)の改定
- 3 デジタル放送におけるアプリケーション実行環境標準規格の改定
- 4 デジタル放送におけるデータ放送符号化方式と伝送方式標準規格の改定
- 5 デジタル放送における映像符号化、音声符号化及び多重化方式標準規格の改定
- 6 衛星デジタル音声放送用受信装置標準規格(望ましい仕様)の改定
- 7 地上デジタルテレビジョン放送運用規定技術資料の改定
- 8 BS/広帯域CS デジタル放送運用規定技術資料の改定
- 9 実数零点単側波帯変調方式標準規格の改定
- 10 CDMA Cellular System 標準規格の改定
- 11 IMT-2000 DS-CDMA System 標準規格及び技術資料の改定
- 12 IMT-2000 MC-CDMA System 標準規格及び技術資料の改定

9 実数零点単側波帯変調方式標準規格 (ARIB STD-T62 1.2 版)

放送事業用連絡無線は、現行のFM方式からデジタル・ナロー方式への移行が求められている。このための方式として、実数零点単側波帯変調(RZSSB)方式が自然性に富んだアナログ音声の伝送が可能で、かつ、遅延時間が小さいので、実用化に向けた検討が進められている。音声以外のデータ信号をデジタルコードスケルチ信号(DCS)と独立に同時伝送したいとの要望があり、以下の改定を行った。

- (1) DCSの挿入領域としてサブキャリアを2,125Hzから3,330Hzに変更
- (2) DCSの伝送速度を100bpsから300bpsに変更
- (3) DCSの変調方式をMSKからQPSKに変更

10 CDMA Cellular System 標準規格 (ARIB STD-T53 Ver.5.4)

IMT-2000の無線伝送方式として3GPP2で開発されてきたMC-CDMA方式は、CDMA Cellular System(800MHz帯)においても方式採用が可能であり、2003年8月~2004年1月に3GPP2が制定した仕様を導入するため

に改定を行った。

本標準規格は Ver.3.0 以降、3GPP2 の技術仕様書体系を踏襲し、各個別仕様書の集合体として策定しているが、今回の改定の対象は以下の個別仕様書である。

追加となる仕様は、(1) IP ベースの空中波によるハンドセットのコンフィギュレーションマネジメント、(2)マルチメディアメッセージングサービス用メディアフォーマットとコーデック、(3)移動機のコンフォーマンステスト、(4)マルチメディアサービスのファイルフォーマット及び(5)高度な秘匿のアルゴリズム、また、改版となる仕様は、(1) HRPD(High Rate Packet Data : 通称 1xEV-DO) 方式の無線インターフェースのテストアプリケーション仕様、(2) HRPD 方式のネットワークミニマム性能規格及び(3) HRPD 方式の端末のミニマム性能規格である。

1 1 IMT-2000 DS-CDMA System 標準規格及び技術資料 (ARIB STD-T63 Ver.3.60 及び ARIB TR-T12 Ver.3.60)

平成 15 年 9 月開催の 3GPP TSG 第 21 回会合において承認されたリリース 99、リリース 4 及びリリース 5 における仕様の追加又は修正を反映する改定を行った。改定項目数は、リリース 99(STD-T63 : 追加 0 件、修正 14 件。TR-T12 : 追加 0 件、修正 0 件)、リリース 4(STD-T63 : 追加 0 件、修正 15 件。TR-T12 : 追加 0 件、修正 0 件)、及びリリース 5(STD-T63 : 追加 0 件、修正 42 件。TR-T12 : 追加 1 件、修正 2 件)である。

1 2 IMT-2000 MC-CDMA System 標準規格及び技術資料 (ARIB STD-T64 Ver.2.40 及び ARIB TR-T13 Ver.2.40)

2003 年 8 月～2004 年 1 月に 3GPP2 が制定した仕様を反映する改定を行った。

ARIB STD-T64 については、追加となる仕様は、(1) IP ベースの空中波によるハンドセットのコンフィギュレーションマネジメント、(2)マルチメディアメッセージングサービス用メディアフォーマットとコーデック、(3)移動機のコンフォーマンステスト、(4)マルチメディアサービスのファイルフォーマット及び(5)高度な秘匿のアルゴリズム、また、改版となる仕様は、(1) HRPD 方式の無線インターフェースのテストアプリケーション仕様、(2) HRPD 方式のネットワークミニマム性能規格、(3) HRPD 方式の端末のミニマム性能規格及び(4)日本の国内仕様に関する Annex の記述である。

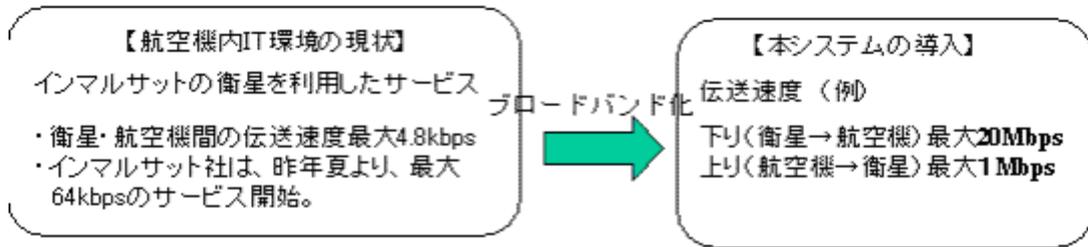
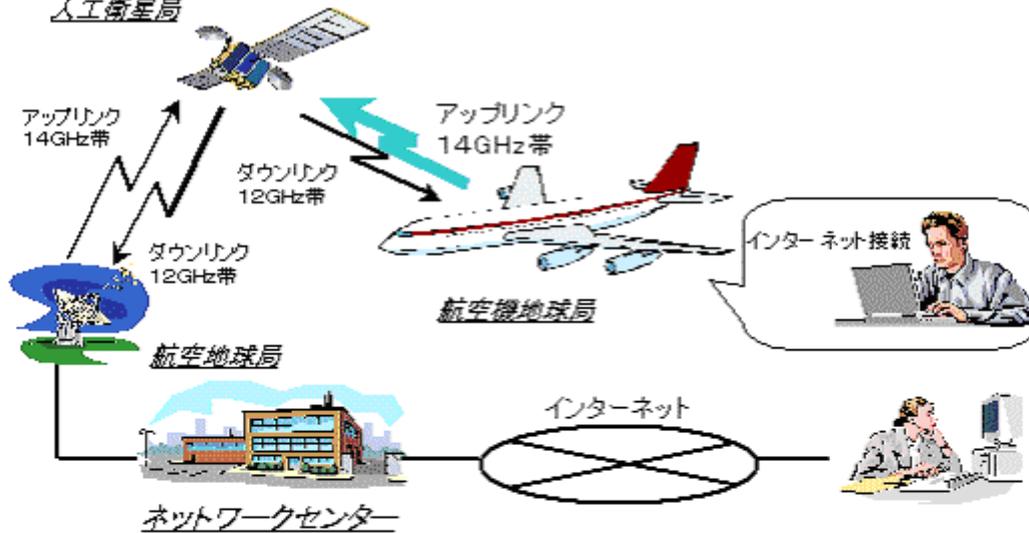
ARIB TR-T13 については、標準のリストの改定を行った。

機内から会社のイントラネットにログオン可能となり、会社との連絡が保て、また、会社のファイルへのアクセスも可能となる。

(3) ニュース等のライブ配信

リアルタイムでTV ニュースの視聴が可能となる。

人工衛星局



Ku 帯を用いた航空移動衛星通信システムイメージ